RIONET

補聴器 HB-T2H 取扱説明書

医療機器のクラス：管理医療機器
一 般 的 名 称：耳かけ型補聴器
販　　売　　名：補聴器 HB-T2H

障害者総合支援法購入基準該当品

※使用電池はPR44（675）です。

このたびはリオネット補聴器をお買い求め頂き、まことにありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、この取扱説明書は保証書と一緒に大切に保管してください。

ご使用前に

補聴器の使用、性能についての注意事項

補聴器は聴力低下を補う医療機器です。他の目的には使用しないでください。

補聴器は聞こえに合わせた調整をおこなう必要があります。必ずご自分にあった聞こえに調整してください。調整には専門の知識を必要としますので、補聴器の調整はお買い求めの販売店にご依頼ください。なお、この補聴器は、補聴器販売店の店頭における購入および当該販売店（または当該販売店の正式な委託を受けて補聴器の調整をおこなう者）による使用前の適切な調整を前提に製造･出荷されております。従って、通信販売などで本品を購入され、かつ適切な調整をおこなわずに本品を使用したことに起因してお客様に生じたいかなる事故もしくは被害も、当社は賠償･保証いたしかねますので、ご了承ください。

補聴器は小さすぎる声、遠くの声、周囲の雑音が大きいときなどは十分に聞き取る効果が発揮できないことがあります。

補聴器を使用しても聞こえが悪くなる前と同じ聞こえに戻るものではありません。また、聞こえには個人差があります。

耳鼻咽喉科医師の受診を勧められたときは、ぜひ受診しましょう。

聴力に変化があったり、使用する環境が変わったりすると、補聴器の再調整が必要になる場合がございます。年に一度は聴力測定を受けることをお勧めします。

※この取扱説明書の内容は2026年9月のものです。

目　次

ご使用前に 2

安全上のご注意（必ずお守りください） 4

補聴器の取り扱いと保管上の注意 9

付属品の確認 12

各部の名称 14

プログラム切替ボタン、ロッカースイッチの動作 15

電池の取り扱い 17

装用の仕方 19

アクセサリ 22

操作の仕方 23

補聴器に慣れるためのアドバイス 31

故障かなと思われたときは 32

お手入れの仕方 33

補聴器の設定 35

技術資料 37

アフターサービスについて 39

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害・財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生ずる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明します。	
⚠ 警告	この表示がある項目は、「人が死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示がある項目は、「人が傷害を負う可能性または物的損傷が発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。	
⃠ 禁止	この表示がある項目はしてはいけない「禁止」の内容です。

より快適なご使用のための方法を説明しています。	
ⓘ	よりよく補聴器を使用するためのアドバイスとヒントです。
☐ ☑	オプションによって異なる機能を示します。お求めの販売店に、該当する機能にチェックを付けるようにご依頼ください。

⚠ 警告

補聴器を調整する方へ

●この補聴器は132 dB 以上の出力を有するので、補聴器の調整における最大出力音圧の設定には注意が必要です。

下記の項目に該当する場合は、補聴器を使用する前に耳鼻咽喉科医師の診察を受けてください。

●耳を治療中のとき。
●耳の手術を受けたとき。
●耳の中に痛み、またはかゆみがあるとき。
●最近3ヶ月以内に耳漏が生じたとき。
●最近2ヶ月以内に聴力が低下したとき。
●最近1ヶ月以内に急に耳鳴りが大きくなったとき。
●耳垢、または異物の集積が明らかなとき。

下記の項目に該当する場合は、補聴器の使用をすぐに中止して、耳鼻咽喉科医師の診察を受けるか、販売店にご相談ください。

●耳漏が生じたとき。
●耳の治療が必要になったとき。
●耳鳴りが生じたとき。
●耳の聞こえが急に悪くなったと思えるとき。
●耳の皮膚が赤くなったり、痛み、痒み、湿疹が生じたりしたとき。
●使用すると頭痛や疲れが生じたとき。
●補聴器の外観、音質、音量などに異常を感じたとき。

補聴器はご使用になる方に合わせた専用の調整がされていますので、自分の補聴器を他人に聞かせたり、他人の補聴器を聞いたりしないでください。正しく調整されていない補聴器は効果がないばかりか、耳を傷める恐れがあります。

補聴器を指向性モードで使用すると、主に後方からの音を抑えます。そのため後方から近づく車両の音やクラクションなどが聞こえにくくなることがあります。

⚠ 警告

補聴器や付属品は飲み込むと窒息の危険を伴います。次のことをお守りください。

- ●小さな子供やペットが触れるところに置かないでください。
- ●小さな子供やお年寄りが使う場合は、誤って補聴器などを飲み込まないよう、周囲の人が常に注意してください。

誤って空気電池を飲み込んでしまった場合は、慌てずにすぐ医師、救急医療センターなどの診察を受けてください。

- ●空気電池が消化管に接触し電流が流れると、短時間でも消化管の壁に損傷が起こる恐れがあります。電流が流れ続けると潰瘍ができたり、穴が開いたりする恐れがあります。
- ●胃内で空気電池が留まると空気電池の金属皮膜が腐食し、電解液が流出して消化管の壁を損傷する恐れがあります。

空気電池から漏れた電解液が目に入った場合、失明など障害の恐れがあります。こすらずに水道水などのきれいな水で十分に洗った後、すぐに医師、救急医療センターなどの診察を受けてください。

応急処置方法などについては、以下の（公財）日本中毒情報センターにご相談ください（ただし通話料は相談者の負担）。

つくば中毒110 番　TEL 029-852-9999　24時間年中無休
大阪中毒110 番　TEL 072-727-2499　24時間年中無休

スマートフォンアプリは、補聴器を操作するために短い信号音を出します。音量が大きいと、耳を傷める原因になります。スマートフォンアプリの使用中は、以下にご注意ください。

- ●スマートフォンのスピーカーを、ご自身や他の方の耳に近づけないでください。
- ●ヘッドホンやイヤホンなどを接続して使わないでください。

引火性の強い場所や爆発の危険のあるところでは、補聴器を使用しないでください。

⚠ 警告

補聴器を分解したり、ご自分で修理や改造などをしたりしないでください。

指定の部品や別売品をご使用ください。

⃠ 禁止

病院などで治療や検査を受けるときは…

- 治療や検査の種類により補聴器に悪影響を与える場合があります。係りの人に補聴器を外すかどうかお尋ねください。
- X線が照射されている場所や0.1T以上の強い磁場では、補聴器をはずしてください。
- MRI検査のときは補聴器を検査室に持ち込まないでください。事故や故障の原因になります。



補聴器による聴力低下を防ぐため次のことをお守りください。

- 大きすぎる音を出さないでください。
- 喧しいところでは音量を控えめにするか、長時間使用しないようにしてください。

補聴器は水などに故意に濡らさないでください。

⚠ 注意

空気電池は使い方を誤ると液漏れや発熱、破裂により、けがや補聴器の故障の原因になります。次のことをお守りください。

- ●充電しない。
- ●分解したり、ショートさせたりしない。
- ●加熱したり、火中に投入したりしない。
- ●水などに濡らさない。
- ●投げつけたり、強い衝撃を与えたりしない。
- ●極性（+と−の向き）を間違えない。

空気電池から漏れた電解液が皮膚や衣服に付着した場合、皮膚に障害を起こす恐れがあります。すぐに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

補聴器の取り扱いと保管上の注意

取り扱いはていねいに

●補聴器は精密機械です。落としたり、ぶつけたりしないでください。
●汗、皮脂、耳垢などが補聴器内部に入ると、音が途切れたり、雑音が発生したり、故障する恐れがあります。ご使用の際は汗などが入り込まないよう注意してください。また、ご使用後は必ずお手入れをしてください。
●化粧水、香水、ヘアスプレー、整髪料などを使用するときは必ず取り外してください。
●シンナー、ベンジンなどで拭かないでください。
●補聴器を電子レンジの中に入れないでください。

補聴器は高温や湿気をきらいます。

●直射日光の当たる場所やストーブの近くなどには置かないでください。
●お風呂やシャワーに入るときは補聴器を必ず外してください。
●台所や浴室、洗面所など湿気のあるところに放置しないでください。
●雨に濡らさないでください。

もし、水中に落としてしまったり、衣服といっしょに洗濯してしまったりしたら‥‥

●水中に落としたときは、よく水を切り、陰干しして修理に出してください。修理に出すときはその旨を説明してください。
●洗濯機に入れたり、海水や汚水に落としたりしたときは、真水で洗った後、よく水を切り陰干しして修理に出してください。修理に出すときはその旨を説明してください。
●雨や汗で濡れたときは乾いた布ですぐに拭き取り、補聴器を乾燥ケースで乾燥させてください。

電磁波が発生するところについて

●ラジオ･テレビの放送局、タクシー無線の近くや、すぐ近くで電子レンジ･IHクッキングヒーター、超音波洗浄機･超音波センサーなどを使用しているところでは、放送が聞こえたり、雑音が入ったりすることがあります。補聴器の故障ではありません。補聴器をとりはずすか、その場所から離れてください。

携帯電話について

●携帯電話を使用するときは、使用する携帯電話によっては補聴器に雑音が入ることがあります。その場合、携帯電話は使用しないようにお願いします。

補聴器や電池がご不要になった場合

●ご不要になった補聴器およびその付属品は、自治体指定の方法で処分してください。
●使用済みの電池は、自治体指定の方法で処分するか、お近くのボタン電池回収協力店へお持ちください。

補聴器を使用しないときは、空気電池を補聴器から出して保管してください。

●空気電池を補聴器に入れたままにすると空気電池が液漏れや膨張をおこし、故障の原因になることがあります。
●万一電池が破損し、電解液に触れたときはすぐに洗ってください。

その他取扱い上の注意

●高温、低温、多湿の場所に放置しないでください。また、次の場所では使用しないでください。（お風呂・温泉、サウナ・ミストサウナ、スキー、岩盤浴、消防・調理・環境試験業務、ドライヤーで乾燥、冷蔵庫の中、コンロ・ストーブの脇など）
●洗濯機、超音波洗浄機、薬剤（石鹸、洗剤など）で洗わないでください。
●化学薬品やその他の液体は付着させないでください。（日焼け止めローション、シェーブローション、整髪料、ヘアスプレー、育毛剤、化粧水、香水など）
●砂浜、砂場などの砂の上に直接置かないでください。マイクや音の出口などに砂が入り、音が小さくなったり歪んだりする原因となる恐れがあります。
●補聴器が水に濡れている最中、補聴器に水滴がついているときや手が濡れている状態での電池ホルダーの開閉は絶対にしないでください。
●電池ホルダーの内側が濡れている状態では絶対に電池を入れないでください。感電や回路のショートなどによる火災・故障の原因となります。

●急激な温度変化は、結露の原因となります。寒いところから暖かい場所に補聴器を持ち込むときは、補聴器が常温になってから持ち込んでください。万一結露したときは、結露が取れるまで常温で放置してください。
●落下させたり、強い衝撃を与えたり、マイクやフックの先端などを綿棒やとがったものでつつかないでください。
●ケースに劣化、破損があるときは、販売店までご連絡ください。
●アクセサリ（リモコン類）は防水性能を有していません。水に濡れるような場所では、使用しないでください。

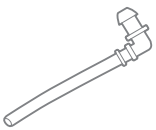
付属品の確認

ご使用になる前に、付属品がすべて揃っていることを □ に ☑ をいれて確認してください

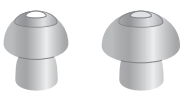
□ 空気電池PR44 (675)【1個】



□ ジョイント付きチューブ (HB-T1/HB-T2用)【1個】



□ 耳せん (HB-T1/HB-T2用)【1個】



※アクセサリ (別売) で
他のサイズもあります。

□ マグネット付きブラシ【1本】

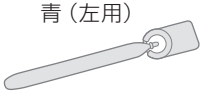


□ 識別チップ

赤 (右用)



青 (左用)

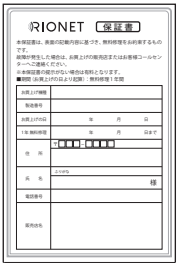


補聴器の左右を識別するためのチップです。(※青が左用、赤が右用です。)
この識別チップの取付け/交換は、お求めの販売店にご依頼ください。

□ 取扱説明書（本書）【1部】



□ 保証書【1部】



□ 使い方ガイド【1部】



□ 携帯ケース【1個】

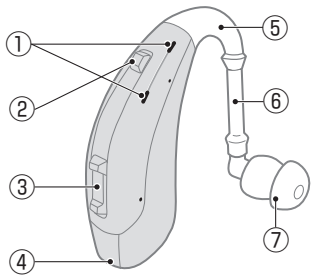


□ リオネットコネクトアプリ かんたんガイド【1部】



付属品は商品の仕様変更などに伴いイラストと異なる場合がございます。

各部の名称



① マイク（ここから音が入ります）
② プログラム（メモリー）切替ボタン
③ ロッカースイッチ
④ 電池ホルダー
⑤ フック
⑥ チューブ
⑦ 耳せん

プログラム切替ボタンの機能について

プログラム切替ボタンには、以下の2つの機能のうちどれか1つを選択することができます。（15ページ）

① 【プログラムの切替】機能（25ページ参照）
② 機能を持たせない

ロッカースイッチの機能について

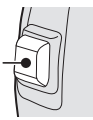
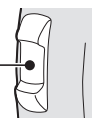
ロッカースイッチには、以下の2つの機能のうちどれか1つを選択することができます。（15ページ）

① 【音量の調節】機能（26ページ参照）
② 機能を持たせない

詳しくは、お求めの販売店にご相談ください。
各機能の操作方法は、それぞれのページをご確認ください。

プログラム切替ボタン、ロッカースイッチの動作

プログラム切替ボタンでプログラムの切り替えが、ロッカースイッチで音量の調節などができます。プログラム切替ボタン、ロッカースイッチは選択した機能によって操作が異なります。
補聴器に搭載されている調整器、選択した機能を下記の表に記入してください。(□にチェックを☑入れてください)

調整器	左補聴器	右補聴器
	□	□
	□	□

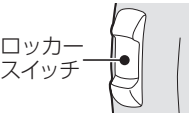
□ プログラム切替ボタン



機能/操作	左補聴器		右補聴器	
	☞1	☞1 3	☞1	☞1 3
プログラムの切替	□		□	
スリープモード		□		□

プログラム切替ボタンの操作方法	
☞1	プログラム切替ボタンを押してください。
☞1 3	プログラム切替ボタンを3秒間押してください。

□ ロッカースイッチ



機能/操作	左補聴器	右補聴器
	☞1	☞1
音量の調節	□	□

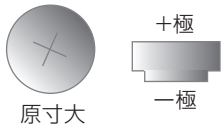
ロッカースイッチの操作方法

☞1　ロッカースイッチを押してください。

電池の取り扱い

電池は補聴器用空気電池PR44（675）をご使用ください

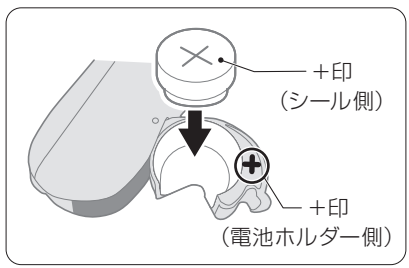
電池の"+"と"−"を確認ください。
補聴器用空気電池は、乾電池と"+"と"−"が逆で、平らが"+"、下に出っ張っているのが"−"です。



空気電池の入れ方

①補聴器の電池ホルダーを開きます。

②空気電池の"+"と"−"の向きを確認します。



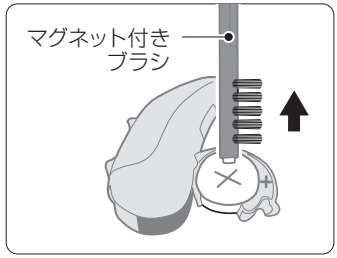
③補聴器の電池ホルダーの“+”表示と空気電池の“+”側が一致するように入れます。

- ●空気電池を逆向きに入れないでください。
- ●空気電池がうまく入らない場合は、無理に入れようとしないで空気電池の“+”“−”の向きとサイズを確認してください。
- ●電池を無理に入れてしまうと補聴器が壊れたり、電池ホルダーが開かなくなったり、電池が液漏れや膨張をおこしたりして、故障の原因になることがあります。

空気電池の取出し方

①補聴器の電池ホルダーを開きます。

②空気電池を取出します。
マグネット付きブラシで電池を吸着し、電池を引っ張り出してください。



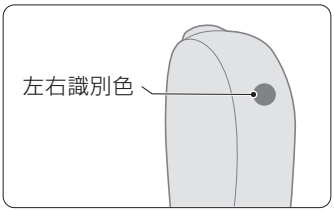
空気電池について

- 補聴器用の空気電池をご使用ください。
- 空気電池は、電池シールをはがしてから約1分後に使用可能になります。
- 空気電池は、使用するときに電池シールをはがしてください。一度、電池シールをはがすと、使用していなくても電池寿命は短くなります。
- 常に予備の空気電池を携帯しましょう。
- 空気電池を携帯・保管する際は、小銭やクリップなどの金属製のものに触れないようにしてください。
- 空気電池の寿命は、補聴器の設定や使用する電池の種類、周囲の環境（低温・乾燥・多湿・二酸化炭素量）によって変わります。
- 特に冬場は、空気電池が苦手な空気の乾燥、ストーブなどによる二酸化炭素の増加、気温の低下が重なり、電池性能（電池寿命）が大幅に低下する場合があります。
- 冬場など空気電池が冷えてしまった場合は、人肌で温めてからご使用ください。
- 空気電池は乾燥ケースの中に入れないでください。補聴器を乾燥ケースに入れるときは、空気電池を補聴器から取出してください。
- 使用前の空気電池は、常温で保管してください。直射日光の当たる場所や高温多湿な場所での保管はおやめください。高温多湿な環境での保管は漏液の原因になります。

装用の仕方

装用する前に

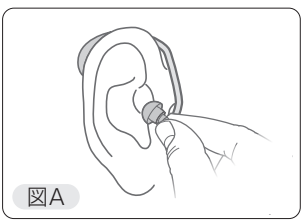
補聴器は、左右のそれぞれの聴力に合わせて調整されています。
補聴器を装用する際は、左右を確認して装用してください。電池ホルダーに、左右を識別する色（識別チップ）がついています。（お求めの販売店にて設定できます。）

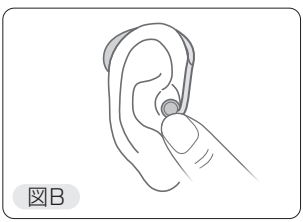


■ 赤色=右耳用補聴器　■ 青色=左耳用補聴器

耳せん仕様の装用方法

①補聴器を耳にかけます。


図A


図B

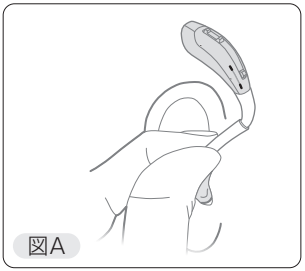
②図Aのようにチューブの曲がりを人差し指と親指でつかみ耳あなに挿入します。耳を後上方に引くと入れやすくなります。
③チューブが耳と接するぐらいまで、図Bを参考に人差し指で押し込んでください。

耳せんが耳あなに合わない場合やハウリング音（ピーピー音）が起きる場合は、別売のイヤモールドの使用をお勧めします。詳しくは、お求めの販売店にご相談ください。

イヤモールド（別売）の装用方法

①イヤモールドを持ちます。

②図Aのように、イヤモールドを後ろに回しながら耳に入れます。


図A

③補聴器を耳にかけます。

④チューブが耳と接するぐらいまで、図Bを参考に人差し指で押し込んでください。


図B

⚠ 注 意

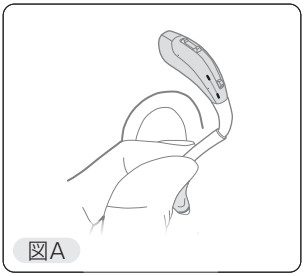
- チューブ、耳せんは消耗品です。汚れ、変色、損傷した場合は新しいものに交換してください。劣化した部品を使用すると耳の中に残ってしまう危険があります。
- 耳せんの付いていないチューブを耳あなに入れないでください。
- 耳せんの付いたチューブを、耳あなの奥深くまで無理に入れることは避けてください。

補聴器のはずし方

①図Aのように曲がりの部分を指でつまみます。

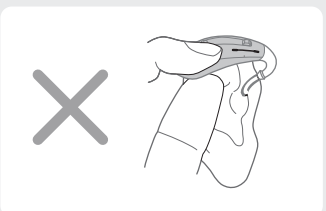
②ゆっくり外耳道から取り出します。

③補聴器を耳から外します。


図A

⚠ 注 意

補聴器を引っ張って耳せんなどを外耳道から抜き出さないでください。
無理に抜き出すと外耳道を傷つけたり、補聴器を破損したりする可能性があります。



アクセサリ

リモコン（別売）

□ スマートキー

補聴器のプログラムの切替、音量の調節を手元でおこなうことができます。
詳しい情報と操作方法は、お求めの販売店に相談するか、リモコンの取扱説明書をご確認ください。



スマートキー

他の人のリモコンで補聴器の設定が変わってしまう場合は、お求めの販売店にご相談ください。

操作の仕方

電源の切り方と入れ方
（選択されました機能の□に☑チェックを入れてください）

□ 電池ホルダーを使って

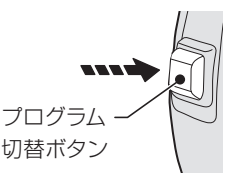
■ 電源の切り方
電池ホルダーを十分に開きます。

■ 電源の入れ方
空気電池を入れ電池ホルダーを完全に閉じます。
電池ホルダーを開閉するときは、開けた後3秒以上経ってから閉めてください。

スリープモード（ミュート）について
（選択されました機能の□に☑チェックを入れてください）

□ プログラム切替ボタンを使って

■ スリープモードにする
プログラム切替ボタンを長押ししてください。補聴器がスリープモードになります。



■ スリープモードの解除
補聴器がスリープモードのときプログラム切替ボタンを長押ししてください。

●スリープモードとは、補聴器から音を出力させない待機状態のことです。そのためスリープモードのときも補聴器は電池を消耗します。
●【スリープモード】の設定は、有効/無効を選ぶことができます。
●スリープモードが設定・解除されるとお知らせ音でお知らせします。

□ リモコン（別売）を使って

リモコンの取扱説明書をご覧ください。

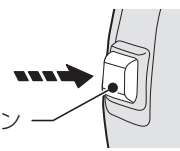
プログラム（聞こえ）の選択
（選択されました機能の□に☑チェックを入れてください）

補聴器には、聞こえの設定（プログラム）を最大4つ保存することができ、聞こえの状況や周囲の環境に合わせて設定を変更することができます。
補聴器の電源を入れると、常にプログラム1が呼び出されます。

●プログラムの設定は、ご要望に合わせて調整できます。
●【プログラムの切替】機能を無効にすることもできます。
●プログラムを切り替えたとき、お知らせ音でお知らせできます。
お求めの販売店にて変更することができます。

□ プログラム切替ボタンを利用して

■プログラム切替ボタンを押すと設定されたプログラムが順番（1→2→3→……→1）に切り替わります。



●スリープモードを有効にしていると、ボタンの長押しで補聴器はスリープ状態になり音が出なくなります。再度長押しするか電源を入れなおすとスリープ状態が解除され音が出ます。
●プログラム切替ボタンの機能を有効に選択する必要があります。
詳しくはお求めの販売店にご依頼ください。

□ リモコン（別売）を使って

リモコンの取扱説明書をご覧ください。

□ スマートフォンアプリを使って

弊社のスマートフォンアプリで補聴器のプログラムを切り替えることができます。

音量の調節

（選択されました機能の□に☑チェックを入れてください）

この補聴器の音量はお客様の聴力に適した音量に自動的に調節されます。手動で補聴器の音量を調節することもできます。

- ●音量の変化幅を変更、または調節を停止することができます。
- ●音量を調節したとき、お知らせ音でお知らせすることができます。

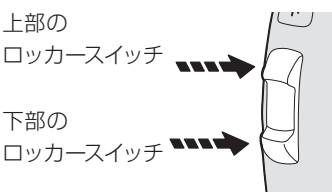
お求めの販売店にご依頼ください。

□ 自動調節

補聴器の音量は自動的に調節されます。

□ ロッカースイッチを使って

上部のロッカースイッチを押すと音量が大きくなり、下部のロッカースイッチを押すと音量が小さくなります。最も聞こえやすい音量に調節してください。



音量を調節しても音が大きすぎる、小さすぎると感じるときは再調整が必要です。お求めの販売店にご依頼ください。

□ リモコン（別売）を使って

リモコンの取扱説明書をご覧ください。

□ スマートフォンアプリを使って

弊社のスマートフォンアプリで補聴器の音量を調節することができます。

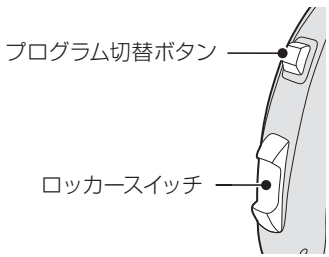
プログラム切替ボタン、ロッカースイッチのロック

誤ってプログラム切替ボタン、ロッカースイッチを押しても動作しないようにすることができます。(Eロックと言います。)
ロックされると、プログラム切替ボタンとロッカースイッチは動作しなくなります。

ロック機能の設定は、有効/無効を選ぶことができます。
お求めの販売店にご依頼ください。

■プログラム切替ボタン、ロッカースイッチのロック
ロッカースイッチの上部ボタンを押したまま、プログラム切替ボタンを長押ししてください。

■プログラム切替ボタン、ロッカースイッチのロック解除
ロッカースイッチの下部ボタンを押したまま、プログラム切替ボタンを長押ししてください。



両耳に補聴器を装用している場合は、左右それぞれロック、ロック解除をしなければなりません。

誘導コイル

誘導コイルとは、磁気によって音声信号を拾う機能です。
電話機や磁気誘導ループ※が設置されている場所で必要な音声信号を周囲の雑音にさえぎられることなく、聞くことができます。



※磁気誘導ループシステムを利用できる施設には右記のようなマークがあります。

誘導コイル機能については、お求めの販売店にご相談ください。

- 電話機によっては、十分な磁気が発生されず、音声信号を聞き取れない場合がございます。
- 補聴器を誘導コイルモードにしているとき、リモコン操作をするとプツプツという雑音が聞こえることがあります。この場合、10cm以上離して操作してください。

外部機器との接続

オーディオシュー（別売）を使用することにより、FMシステムと接続することができます。

●オーディオシューは、電池ホルダーの役割を兼ねています。
●オーディオシューに電池を入れてオーディオシューを閉めると、補聴器の電源が入ります。
●オーディオシューにFMシステムを取り付けると、FMシステム用のプログラムに自動で切り替わります。

詳しくはお求めの販売店にご依頼ください。

⚠ 注 意

●弊社指定のオーディオシューを使用してください。
●オーディオシューには、電気用品安全法やIEC62368-1規格などの安全性を備えた機器を接続してください。

電源の遅延動作について

補聴器の電源を入れてから時間（6秒、12秒、18秒）をおいて、音を出すことができます
この機能を使用すればハウリング（ピーピー音）を心配することなく補聴器を耳に装用することができます。

遅延動作の設定は、お求めの販売店にご依頼ください。

空気電池が消耗したとき

- 空気電池が消耗すると音が段階的に小さくなります。このときは新しい空気電池に交換してください。
- 一旦電池ホルダーを開けて閉めると、再び聞こえることがありますが、長くご使用になれません。
- 古い空気電池を入れたままにすると、空気電池の液漏れや膨張をおこすことがありますので、必ず取出してください。

空気電池が消耗したときにお知らせ音でお知らせすることができます。
お知らせ音の設定は、お求めの販売店にご依頼ください。

補聴器に慣れるためのアドバイス

補聴器に慣れる必要があります。
いろいろな場所で聞いてみましょう。



☐ 静かな部屋を使用して、補聴器をつけることと音に慣れてください。
声を出して新聞や本などを読んで、自分の声に違和感がなくなるまで、自分の声を聴く練習をします。



☐ 静かな部屋で1人の身近な人と話をする練習をします。



☐ 4～5人の人たちの会話を聞き、どの人が話をしているのか聞き分ける練習をします。



☐ 単に聞くだけではなく“聞こう”とする意欲が大切です。

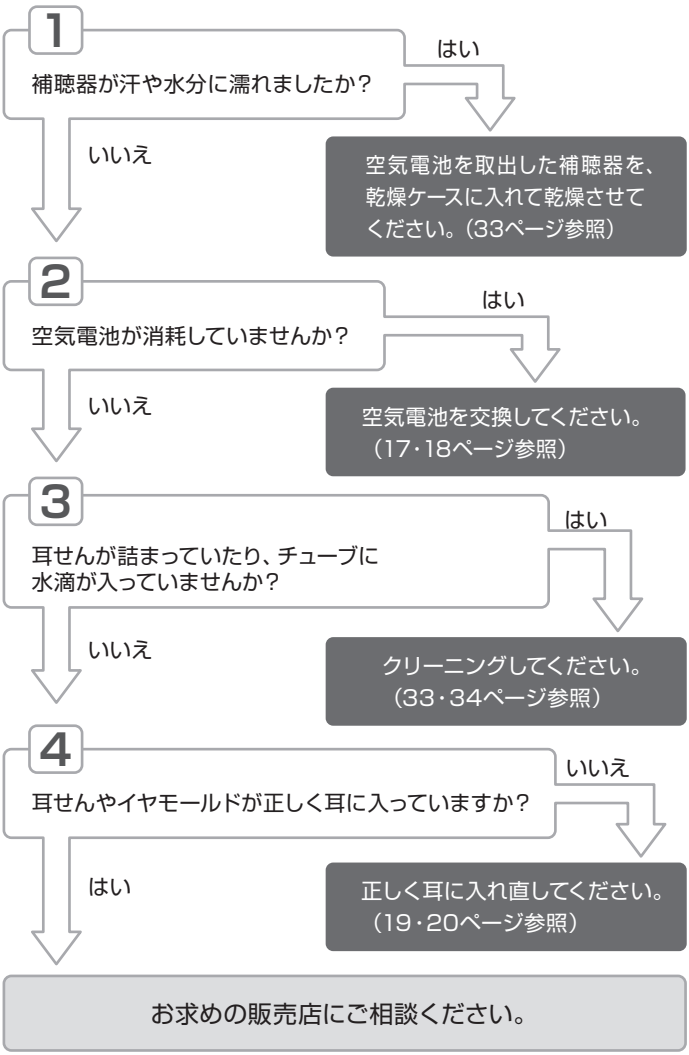


☐ 戸外で、いろいろな音を聞いて、何の音が聞こえるか練習します。

補聴器は初回の調整だけでは完成しません。
気になる点があれば、お求めの販売店に相談しましょう。

故障かなと思われたときは

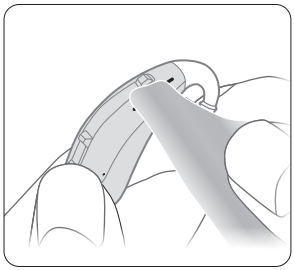
補聴器の聞こえ方が悪くなったときは、次の要領でお調べください。



お手入れの仕方

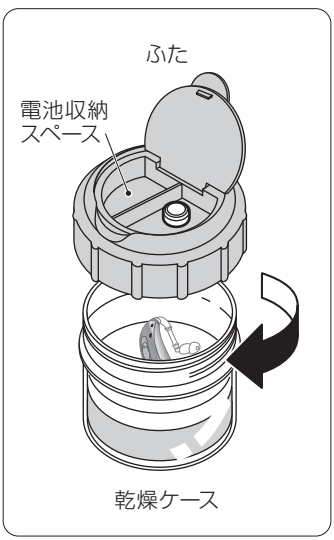
補聴器は常に清潔にしてください。

補聴器のお手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。汚れがひどいときは、真水を湿らせた柔らかい布で汚れを落とした後、乾拭きしてください。



補聴器を水で洗ったり、水に浸したりしないでください。
お手入れ中に、補聴器に強い力を加えないでください。

補聴器のご使用後は、補聴器を乾いた布で拭いたあと、空気電池を出して電池ホルダーを開けたまま乾燥ケース（別売）の中で乾燥させてください。空気電池も汗を拭き取ってください。（特に梅雨、夏場は水分や汗が補聴器の中に入りやすくなります。）
補聴器を乾燥ケースの中にいれたら、蓋をしっかりと閉めてください。蓋が閉まっていないと乾燥効果を十分に得られません。
※空気電池は電池収納スペースに入れてください。



乾燥剤の色が白く変わっている場合、乾燥効果を十分に得られません。その場合、新しい詰め替え用に交換してください。湿気の状況にもよりますが乾燥剤は3ヶ月を目安に交換してください。（梅雨、夏季は1ヶ月が目安です。）

- チューブ、耳せん、イヤモールド内に水滴が溜まると音が聞こえなくなることがあります。補聴器からチューブをはずしてよく乾かしてください。（特に冬場、寒暖の差が大きい場合に水が溜まりやすくなります。）
- 耳せん、イヤモールド（別売）は常に清潔に保ちましょう。
- 毎日ご使用後汚れをクリーニングするようお勧めします。

補聴器の設定

お求めの販売店で、補聴器の仕様や補聴器に設定されているプログラムを下記の表に記入してもらってください。
（選択されました仕様や設定の□に☑チェックを入れてください）
プログラムをどのようなときに選択すればよいのかを判断するのにご利用ください。

補聴器	
空気電池	☑ PR44 (675)
ご使用の耳せん	□ L　□ MM　□ M □ S　□ SS
電源の遅延機能	□ 18秒　□ 12秒　□ 6秒　□ 無効
スリープモード	□ 有効　□ 無効

お知らせ音		
プログラムの切り替え	□ 有効	□ 無効
音量調節	□ 有効	□ 無効
音量調節の限界	□ 有効	□ 無効
音量調節の開始位置	□ 有効	□ 無効
電池残量の警告	□ 有効	□ 無効

プログラム（聞こえの）設定

プログラム番号	プログラム内容・使用環境
1	
2	
3	
4	

これらプログラムの変更は、お求めの販売店にご相談ください。

リモコン

☐ スマートキー

技術資料

動作、保管と輸送について

補聴器をご使用する際は下記の条件を確認してください。

	動作中
温度	0～50℃
湿度	5～93%RH

※結露のないこと

長期間の保管や輸送をする際は下記の環境を保ってください。
保管する際は、補聴器のクリーニングをして、よく乾燥させてから保管してください。

	保管	輸送条件
温度	10～40℃	-20～60℃
湿度	10～80%RH	5～90%RH

※結露のないこと

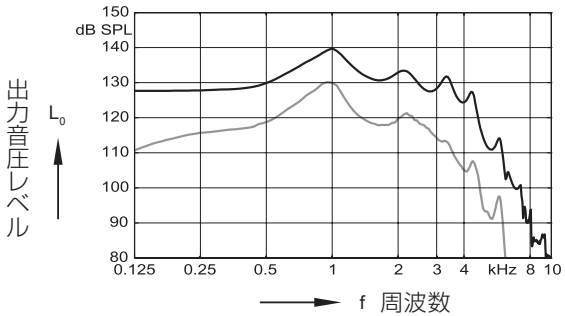
電池の保管・輸送条件は異なります。電池と一緒に長期間の保管・輸送をしないでください。
電池寿命：約260時間

仕様

JIS C 5512：2015で表示

		公称値［許容差］
最大音量利得	HFA	72dB　［±5dB］
	ピーク値	80dB［+3dB以下］
90dB入力 最大出力音圧レベル	HFA	133dB　［±4dB］
	ピーク値	140dB［+3dB以下］

その他の技術的データは、テクニカルインフォメーション（販売店向け資料）に記載されています。



90dB入力最大出力音圧レベルの周波数レスポンス曲線
(入力音圧レベル90dB)

最大音響利得周波数レスポンス曲線
(入力音圧レベル50dB)※出力音圧表示

アフターサービスについて

保証書（別に添付しています。）
保証書には必ず「販売店名、お買上日」などの記入をお確かめになり、大切に保管してください。

保証期間中、修理依頼されるとき
恐れ入りますが、保証書を添えてお求めの販売店へお持ちください。保証書の記載内容に従って、修理いたします。保証書の提示がないときは有償修理になります

保証期間経過後の修理について
お求めの販売店または弊社にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有償で修理いたします。

その他のお問い合わせは……
アフターサービスなどについてご不明な点は、お求めの販売店までお問合せください。

販売業者

リオン株式会社

https://www.rion.co.jp/

本社／営業部

〒185-8533 東京都国分寺市東元町3-20-41

リオネット補聴器お客様コールセンター

フリーダイヤル:0120-2933-76　受付時間:9:00～21:00

製造販売業者 ：WSオーディオロジージャパン株式会社

住　　所 ：〒242-0007 神奈川県大和市中央林間 7-10-1
三機大和ビル 6F

Document No. 29_D00371908_JA-JP_REV01 D00371908

Order/Item No. 210 555 64

Master Rev01, 04.2026

© 04.2026, WSAUD A/S. All rights reserved

2105564A

キ-21055564 / Rev.A 2026.9